

平成 17 年 度  
国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況  
(要 約)

平成 18 年 8 月  
農 林 水 産 省

国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況は、「国有林野の管理経営に関する法律」(昭和26年法律第246号)第6条の3第1項の規定に基づき公表するものです。

## 構 成

|     |                       |   |
|-----|-----------------------|---|
| 1   | 平成17年度の実施状況の概要について    | 1 |
| 2   | 平成17年度の主な取組           | 1 |
| (1) | 公益的機能の維持増進            | 1 |
| (2) | 森林環境教育や森林とのふれあい等の推進   | 2 |
| (3) | 新たな政策課題への率先した取組       | 4 |
| (4) | 双方向の情報受発信を基本とする対話型の取組 | 5 |
| (5) | 林産物の持続的かつ計画的な供給       | 6 |
| (6) | 効率的な事業の実施             | 6 |

## 1 平成17年度の実施状況の概要について

国有林野事業では、国有林野の管理経営の基本方針を明らかにするため、あらかじめ国民の皆さんの意見を聴いた上で、「国有林野の管理経営に関する基本計画」(以下、「管理経営基本計画」と略記)を策定し、これに基づき管理経営を行っています。

現在の管理経営基本計画は、平成16年4月から平成26年3月までを計画期間として、名実ともに開かれた「国民の森林」を実現していくための取組を推進することとしています。

本報告は、平成17年度における管理経営基本計画の実施状況について、国民の皆さんの理解をいただけるよう、写真と図表を用いてできるだけわかりやすく記載したものです。

## 2 平成17年度の主な取組

### (1) 公益的機能の維持増進

- ・ 森林の公益的機能を維持増進させるため、長伐期施業、針葉樹と広葉樹の混交などによる育成複層林施業を実施しました。(本文5ページ)



崩壊が発生した水源かん養保安林の復旧にあたり、本数の調整により現地発生した丸太を活用した治山施設を設置するとともに、周辺に自生する樹種を植栽するなど効果的で効率的な保全・整備を推進。  
[ 宮崎県日之影町 ]  
(九州森林管理局宮崎北部森林管理署)



針葉樹一斉林に抜き伐りを行い、針広混交林への誘導を推進。  
(中部森林管理局)

- ・ 特に、森林の健全性を保つため、需要拡大にも努めながら、間伐を推進しました。(本文7ページ)



現地の状況等に応じて、高性能林業機械を活用した効率的な列状間伐を推進。  
[ 岡山県新見市 ]  
(近畿中国森林管理局岡山森林管理署)

- ・ 集中豪雨や度重なる台風による山地災害に迅速に対応するとともに、平成16年10月に発生した新潟県中越地震による山地災害の本格的な復旧を開始しました。  
(本文9ページ)



台風14号災等により、九州各県において甚大な山地災害が発生。  
効果的な復旧対策を進めるため、自治体、関係機関及び、学識経験者とともに、復旧計画等の調整・検討を実施。  
[ 宮崎県宮崎市ほか ]  
(九州森林管理局)



新潟県中越地震による大規模な地すべり等が発生した中越地区において、本格的な地すべり防止事業に着手。  
[ 新潟県小千谷市ほか ]  
(関東森林管理局中越森林管理署)

## (2) 森林環境教育や森林とのふれあい等の推進

- ・ 学校等を対象に国有林野を森林環境教育の場として提供する「遊々の森」の協定を新たに全国14箇所で締結しました。(本文17ページ)



地元小中学生だけでなく、都市部の修学旅行生なども受け入れて森林環境教育を推進するためのフィールドを提供。  
さらに、間伐、炭焼き、木工作などの体験学習の講師を派遣し、活動を支援。  
[ 岩手県久慈市 ]  
(東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署)

- ・ 森林整備への国民参加を促進するために設定した、全国147箇所の「ふれあいの森林」で、延べ約1万2千人の方に森林づくり活動に参加いただきました。  
(本文21ページ)



台風により甚大な被害を受けた国有林の一部をNPO等に森林再生活動のフィールドとして提供。さらに、互いの連携を深め継続的な活動を進めるため、「富士山国有林森づくり連絡協議会」の設立等を支援。

[静岡県富士宮市ほか]  
(関東森林管理局静岡森林管理署)

- ・ 伝統文化の継承等に貢献するため、「斑鳩の里法隆寺古事の森」を新たに設定し、「木の文化を支える森づくり」活動を推進しました。(本文22ページ)



国宝・重要文化財等の伝統的建築物の修復用資材を確保するため、世界最古の木造建築物で我が国最初の世界遺産である法隆寺にちなみ、「斑鳩の里法隆寺古事の森」を設定。

[奈良県斑鳩町]  
(近畿中国森林管理局)

- ・ 自然再生などに取り組む市民団体などの活動を支援しました。(本文23ページ)



台風被害を受けた森林の再生や、市民参加型の森林づくりのモデル構築をめざす「野幌プロジェクト」を推進。

地元のNPO、自治体等と協働しながら、森林の再生状況についてモニタリングを実施するなど、様々な活動を実施。

[北海道札幌市、江別市、北広島市]  
(北海道森林管理局石狩地域森林環境保全ふれあいセンター)

### (3) 新たな政策課題への率先した取組

- 地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収・貯蔵を進めるため、健全な森林の育成や治山事業等における木材の利用を推進しました。(本文25ページ)



木材利用を推進する観点から、国産材のみを使用した庁舎の新築に当たり、建築中の状況を広く一般の方々に公開。  
 [ 広島県三次市 ]  
 (近畿中国森林管理局広島北部森林管理署)

#### 国有林野事業における二酸化炭素固定に資する木材・木製品の使用状況

| 平成17年度               | (参考)平成16年度           |
|----------------------|----------------------|
| 51,782m <sup>3</sup> | 48,582m <sup>3</sup> |

#### 国有林野事業における二酸化炭素固定に資する木材・木製品の使用事例



スギ・アカマツの間伐材を利用した山腹工

型枠にスギ間伐材を利用した谷止工



スギ材を利用した丸太防風柵工

- ・ 生物多様性の保全等を図るため、全国13箇所新たな保護林を設定し、これまでに設定された保護林は850箇所、68万haとなりました。(本文31ページ)



日本固有の種であるヤクタネゴヨウの群落の保護・管理対策を進めるため、種子島の早稲田川流域の自生地を植物群落保護林に設定。

[ 鹿児島県西之表市 ]

(九州森林管理局屋久島森林管理署)

- ・ また、全国で22箇所に42万ha設定している緑の回廊(平成17年度は3箇所に3万haを新設)において、野生動植物の生息・生育環境の保全に努めました。(本文33ページ)



緑の回廊の適切な整備や管理を行うため、森林の状態と森林内に生息・生育する野生動植物のモニタリング調査を実施。

(東北森林管理局)

#### (4) 双方向の情報受発信を基本とする対話型の取組

- ・ 広く国民の皆さんの声を聴き、管理経営に活かすため「国有林モニター会議」等を開催しました。(本文15ページ)



国有林の役割や業務の内容等について理解いただけるよう、「国有林モニター会議」を、かつて鉱山からの煙害によって荒廃した森林の再生のため、長年にわたり治山事業に取り組んでいる足尾地区で実施。

[ 栃木県日光市(旧足尾町) ]

(関東森林管理局)

## (5) 林産物の持続的かつ計画的な供給

- ・ 自然環境の保全に配慮しつつ、林産物を持続的かつ計画的に供給し、地域における木材の安定供給に貢献しました。(本文39ページ)



従来は輸入材がほとんどを占めていた集成材分野に国産材を活用するため設立された大型ラミナ工場に、スギ間伐材を安定的に供給。

さらに、コスト縮減のため、曲がり材の歩留まり向上や、機械による丸太自動選別等を実施。

[ 佐賀県伊万里市 ]

( 九州森林管理局 )

- ・ また、民有林からの供給が期待しにくい銘木の供給にも努めました。



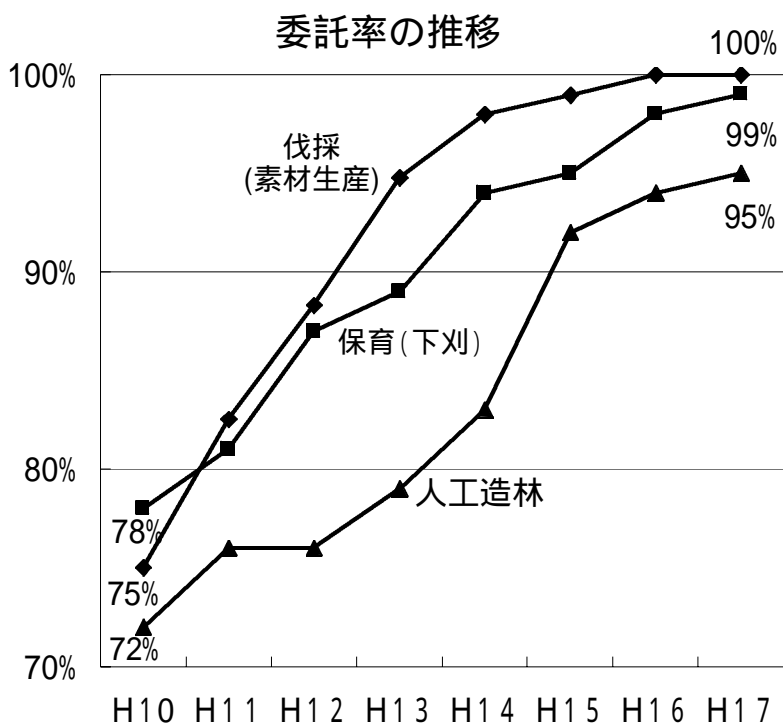
善光寺からの要請を受け、重要文化財「善光寺三門」解体修理に必要な資材として、民有林からの安定供給が期待しにくい天然サワラを計画的に供給。

[ 長野県長野市、上松町 ]

( 中部森林管理局木曾森林管理署及び同署南木曾支署 )

## (6) 効率的な事業の実施

- 伐採・造林等の事業について委託化を進め、そのほとんどを民間委託化するなど、効率的な事業運営に努めました。(本文48ページ)



- 木材価格の下落等厳しい状況の中、収支両面にわたる努力を行い、前年度に引き続き新規借入金をゼロとし、収入が支出を26億円上回りました。(本文50ページ)

